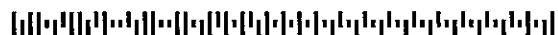


162-0801

東京都新宿区山吹町358-5
アカデミーセンター

日本魚類学会事務局 御中



000029 #

541-0042

大阪市中央区今橋3-1-7
日本生命今橋ビル4F

公益財団法人 日本生命財団

平成28年2月

各位

ニッセイ財団

平成28年度ニッセイ財団
環境問題研究助成募集のご案内

前略 平素よりニッセイ財団・環境問題研究助成につきまして、格別のご理解とご支援をいただき、厚くお礼申し上げます。

平成28年度の環境問題研究助成募集を2月1日（月）より4月4日（月）の期間で行いますので、募集内容につきご案内申し上げます。

平成28年度は、研究課題を「人間活動と環境保全との調和に関する研究－自然環境の保全と農山村の再生・持続可能な地域づくり、都市・生活環境の改善と持続可能な社会づくり－」として、[学際的総合研究]を募集いたします。また、募集課題にとらわれることなく着想豊かな研究を若手研究者に求める[若手研究・奨励研究]も募集いたしております。

つきましては、ウェブ（ホームページ）への掲載などの方法で、関係先に周知いただきますよう、ご高配方よろしくお願ひ申し上げます。

草々

なお、この件に関してのお問合せは、下記にお願いいたします。

ニッセイ財団 環境問題研究助成 事務局

TEL 06-6204-4012 FAX 06-6204-0120

電子メール kankyou@nihonseimei-zaidan.or.jp

ホームページURL <http://www.nihonseimei-zaidan.or.jp>

人間活動と環境保全との調和に関する研究

－自然環境の保全と農山村の再生・持続可能な地域づくり、
都市・生活環境の改善と持続可能な社会づくり－

1. 助成の主旨

ニッセイ財団では、21世紀の社会が活力あふれる真に豊かな社会となるためには、調和のとれた社会・自然環境に支えられた、活力と創造性ある人間性豊かな生活環境を一層確立していくことが重要と考え、豊かな人間生活にとって欠かせない基盤の一つである環境の改善・充実に資する研究に対し、助成を行います。

2. 助成研究の区分と募集課題

○学際的総合研究

①課題： 人間活動と環境保全との調和に関する研究

－自然環境の保全と農山村の再生・持続可能な地域づくり、
都市・生活環境の改善と持続可能な社会づくり－

②研究の期間：平成28年10月から平成30年9月までの2年間

③研究募集の趣旨：

- ・冒頭の助成の主旨に鑑みて、「人間活動と環境保全との調和に関する研究」を募集課題に毎年テーマを設定してきましたが、今年度につきましては、以下の2つをテーマとして学際的総合研究を募集します。両テーマとも「人間活動と環境保全」に深く繋がっており、単独のテーマを対象とした研究だけでなく、相互に関連する研究も募集対象といたします。これらのテーマについて、人口減少・高齢化等といった現在直面する社会現象も踏まえた上で、従来の課題に対する解決策のみならず、新たな課題を掘り起こすことも視野に入れた取り組みを期待します。
- ・ i) 「自然環境の保全と農山村の再生・持続可能な地域づくり」～ 過疎化・高齢化等による農山村の衰退は、農山村が果たしてきた自然環境の保全機能の弱体化を招き、そのことが生態系のもつ多くの機能の劣化に繋がっています。今日、農山村の再生は、自然環境（生態系）の維持保全に向けた大きなかつ喫緊の課題であり、今後の環境問題を検討するにあたって避けて通れないテーマです。
生態系の機能回復、地域における第一次産業（生産活動）の今後の取り組み、地域コミュニティの維持再生など、農山村の環境保全と地域社会の再生に向けた課題解決に資する研究を募集します。
- ・ ii) 「都市・生活環境の改善と持続可能な社会づくり」～ 戦後の急激な都市化の進行は、環境負荷の増大を招き、都市問題として多くの課題を抱えることになりました。地域の自然環境だけでなく、都市部自身の生活環境にも大きな影響を与えており、環境と調和した自然共生型の都市づくりが求められています。
都市における生活と自然環境の持続的な調和や、資源の再利用をはじめとした循環型社会の構築など、今後の都市が持続的に発展していくための課題解決に資する研究を募集します。

- ・この学際的研究では、取り上げた研究課題に対し学問領域の枠を超え学際的・総合的な研究として、多方面・他分野の大学研究者と地元自治体、更にはNPO・NGO・地域住民等の実践活動者などが協働して推進する他分野協力型、実践型、提言型の研究を期待しています。

○若手研究・奨励研究

① 課題

- ・ニッセイ財団研究助成の主旨（上記1.）を踏まえた研究とし、特に課題を設定しませんが、「人間性豊かな生活環境の確立」に役立つ着想豊かな・新しい分野への挑戦的研究を期待します。

② 応募資格の制限

- ・年齢は45歳以下（昭和46年4月1日以降生まれ）とします。
但し、学生（院生含）には応募資格はありません。

③ 研究の期間

- ・平成28年10月から平成29年9月までの1年間

④ 研究募集の趣旨

- ・本財団の研究助成の主旨に基づき、幅広い視野に立つ研究を募集します。その研究を踏まえて、更に次のステップに発展し得るような**若手研究者の基礎的な研究や萌芽的研究から新しい分野への挑戦的研究まで幅広く募集**します。

3. 成果の公表・普及について

- ・本助成では研究の遂行と並び、助成による研究成果の公表・普及を図ることが重要であり、研究成果・提言が社会に受け入れられ、実践されて、はじめて「環境問題への具体的貢献」であると考えています。
- ・このため、当財団では市販を想定した、研究成果出版物の刊行を支援する成果発表助成、助成研究の成果を報告・討議するワークショップの開催、「財団ホームページ」への研究報告書の掲載など、助成成果の公表・普及や環境問題の啓蒙に特に力を入れています。研究助成を受けて研究を遂行した後、その成果の刊行も計画されている方は成果発表助成活用を積極的に検討ください。

公表・普及の詳細については弊財団ホームページをご覧ください。

URL <http://www.nihonseimei-zaidan.or.jp>

4. 本年度募集の概要

本年度の助成概要は下表のとおり

区 分	学際的総合研究	若手研究・奨励研究
課 題	人間活動と環境保全との調和に関する研究—自然環境の保全と農山村の再生・持続可能な地域づくり、都市・生活環境の改善と持続可能な社会づくり—	ニッセイ財団の「助成の主旨」を踏まえた環境問題研究で、若手研究者の基礎的研究・萌芽的研究や新しい分野への挑戦的研究 (特に課題は設定していません)
助成金 総額	4千万円程度 (予定)	
1 件当たり 助成額	(2年間分) 1000万円～1500万円	50万円～150万円
助 成 期 間	平成28年10月から2年間	平成28年10月から1年間
申 請 書	学際的総合研究助成申請書	若手研究・奨励研究助成申請書
応 募 締 切	平成28年4月4日(月) [消印有効]	
助 成 の 決 定	当財団選考委員会にて選考の上、9月の理事会で決定	

助成対象とならない研究 <学際的総合研究、若手研究・奨励研究 共通>

- 営利を目的とした研究、営利につながる可能性の大きい研究
- 他の機関から委託を受けている研究 (予定を含む)
- 海外出張のみを経費内容とする研究
- 技術開発・教材開発中心の研究

募集要項のPDFファイルと申請書のPDFファイルおよびWord (Windows) ファイルをニッセイ財団ホームページよりダウンロードすることができます。また、ダウンロードした申請書を用いて申請することができます。

URL <http://www.nihonseimei-zaidan.or.jp>

5. お問い合わせ先 (申請書の送付先)

〒541-0042 大阪市中央区今橋3-1-7 日本生命今橋ビル4F
ニッセイ財団 環境問題研究助成 事務局
TEL (06)6204-4012 FAX (06)6204-0120
ホームページ <http://www.nihonseimei-zaidan.or.jp>